

筆順なんてどうでもよい、  
といわれる書家さんがおられますが、

書の凡人は、

望ましい筆順で練習すると

覚えやすくなり、かつ

**字が整います。**

安

うかんむり

安

⑥

やす (5)

安

アン

やすい 安い・<sup>たか</sup>高い

やすくない 安く<sup>くない</sup>

やすくする 安く<sup>する</sup>

やすね 安値・<sup>たかね</sup>高値

やすもの 安物<sup>買いの</sup>銭失<sup>いな</sup>

かくやす 格安<sup>の</sup>品物<sup>しなもの</sup>

めやす 目安<sup>にする</sup>

わりやす 割安・<sup>わりだか</sup>割高

あんか 安価・<sup>こうか</sup>高価  
あんざん 安産<sup>を願う</sup>

あんしん 安心<sup>する</sup>  
あんじゅう 安住<sup>する</sup>  
あんせい 安静<sup>にする</sup>

あんぜん 安全・<sup>キケン</sup>  
あんそく 安息<sup>日</sup>  
あんだ 安打=ヒット  
あんち 安置<sup>する</sup>  
あんちよく 安直<sup>な</sup>考<sup>かんが</sup>え

あんてい 安定<sup>する</sup>  
あんぴ 安否<sup>を</sup>尋<sup>たず</sup>ねる  
あんらく 安楽<sup>死</sup>

こうあん 公安<sup>いんかい</sup>委員会

ちあん 治安<sup>が</sup>良<sup>よ</sup>い

ふあん 不安・<sup>あんしん</sup>安心

へいあん 平安<sup>じだい</sup>時代

ほあん 保安<sup>かん</sup>官・保安<sup>ほあんりん</sup>林

悪

いひ

悪



わる (い)

悪

アク・オ

三ーI

わるい	悪い・ <small>よい</small> 良い	あくやく	悪役・ <small>にまいめ</small> 二枚目
わるくない	悪くない	あくゆう	悪友 <small>にさそ</small> に誘われて
わるぎ	悪気 <small>はない</small>	あくよう	悪用 <small>する</small>
わるもの	悪者 <small>になる</small>	あくれい	悪例 <small>をのこ</small> を残す
あくい	悪意 <small>はない</small>	あっか	<small>びょうき</small> 病気が悪化 <small>する</small>
あくうん	悪運 <small>つよ</small> 強い	あっかん	悪漢 <small>あらわ</small> が現れる
あくさい	悪妻 <small>ねん ふさく</small> は六十年の不作	あっこう	悪口 <small>ぞうごん</small> 雑言
あくしつ	悪質 <small>きわ</small> 極まりない		
あくじ	悪事 <small>はたら</small> を働く	かいあく	改悪・ <small>かいせい</small> 改正
あくせい	悪性 <small>りょうせい</small> ・ <small>よい</small> 良性	がいあく	害悪 <small>をあたえる</small>
あくせい	悪政 <small>とら</small> は虎より <small>わる</small> 悪し	けんあく	険悪 <small>なふんい</small> 霧囲気
あくせん	悪銭 <small>み</small> 身につかず	ごくあく	極悪 <small>にん</small> 人
あくだま	悪玉・ <small>ぜんだま</small> 善玉	さいあく	最悪 <small>けっか</small> の結果
あくとう	悪党	ざいあく	それは罪悪だ
あくにん	悪人・ <small>ぜんにん</small> 善人	ぜんあく	善悪 <small>はんだん</small> の判断
あくひつ	<small>わたくし</small> 私は悪筆 <small>です</small> から	おかん	悪寒 <small>がする</small>
あくひょう	悪評 <small>き</small> を聞く		
あくぶん	この文は悪文 <small>ぶん</small>	こうお	好悪 <small>かんじょう</small> の感情 <small>かく</small> を隠す
あくみょう	悪名 <small>たか</small> 高い		

3003

暗  
立  
目

暗

13

く  
5  
(5)

暗  
立  
目

アン

くらい 暗い  
 くらくない 暗くない  
 くらくする 暗くする

くらやみ 暗闇

あんうん 暗雲がたれこめる  
 あんくん 暗君・明君めいくん  
 あんこく 暗黒のせかい  
 あんごう 暗号を見破る  
 あんしつ 暗室で現像する  
 あんまく 暗幕をはる

めいあん 明暗を分ける

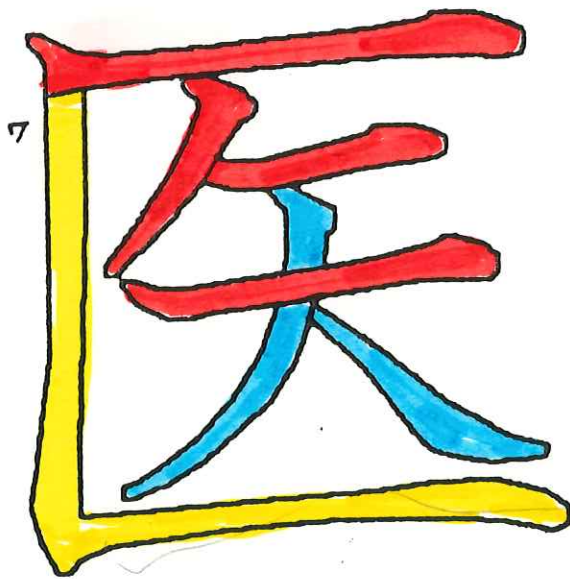
3004



かんじが  
かぎ



⑦



イ



いいん	医院 <small>びょういん</small> ・病院 <small>びょういん</small>
いか	医科 <small>だいがく</small> 大学 <small>だいがく</small>
いがく	医学 <small>まな</small> を学ぶ <small>まな</small>
いし	医師 <small>こっか</small> 国家試験 <small>しけん</small>
いしゃ	医者 <small>かんじゃ</small> ・患者 <small>かんじゃ</small>
いじゅつ	医術 <small>じんじゅつ</small> に仁術 <small>じんじゅつ</small>
いやく	医薬 <small>ぶんぎょう</small> 分業 <small>ぶんぎょう</small>
ぐんい	軍医 <small>ぐんじん</small> ・軍人 <small>ぐんじん</small> ・軍歌 <small>ぐんか</small>
こうい	校医 <small>しんだん</small> の診断 <small>しんだん</small>
じょい	女医 <small>しんだん</small> さん
めいい	名医 <small>しんだん</small> の診断 <small>しんだん</small>

禾女

おんな

禾女

⑧

禾女

イ

いいん  
いさい

委員いいん会の委員  
委細かま構わず

3006



い

意

⑬



イ

いがい 意外いがい  
 いき 人生じんせい意い気きに感かんず  
 いぎ 意義いぎがある  
 いけん 意見いけんを言いう  
 いこう 意向いこうを聞きく  
 いし 意思いしが固かたい  
 いし 意志いしが有ある  
 いしき 意識いしきが無なくなる  
 いじ 意地いじを張はる  
 いちゅう 意中いちゅうの人  
 いと 意図いどを隠かくす  
 いひょう 意表いひょうを突つく  
 いみ 意味いみが分わかる  
 いやく 意識いやく・直ちやく訳やく  
 いよく 意欲いよくが有ある

あくい 悪意あくいは無ない  
 けいい 敬意けいいを抱いだく  
 けつい 決意けついする  
 こい 故意こいの過か失しつ  
 こうい 好意こういを持もつ  
 ごい 語意ごいを調しらべる  
 ごくい 手品てしなの極意ごくい  
 さつい 殺意さついを抱いだく  
 しつい 失意しついの底そこ  
 しゃい 謝意しゃいを表あらわす  
 しんい 真意しんいをはか  
 じい 辞意じいを表明ひょうめいする  
 せい  
 せい  
 たいい 誠意せいを尽つくくす  
 たいい 大意たいいはこの通とおり  
 ちゅうい 注意ちゅういする  
 てきい 敵意てきいを感かんずる  
 とくい 得意とくい満まん面めん  
 にんい 任意にんいの長ながさで  
 ねつい 熱意ねついがある  
 ふい 不意ふい打うち  
 ようい 用意よういする

育

イク  
イク

育

⑧

イク  
イク

育

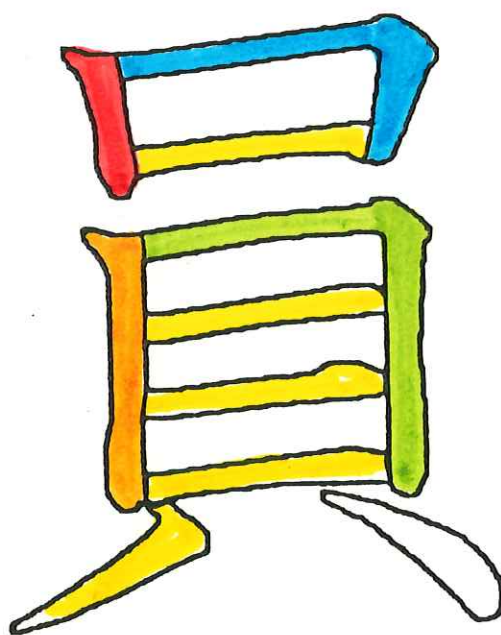
イク

そだつ 育つ  
 そだちます 育ちます  
 そだたない 育たない  
 そだてる 育てる  
 そだてない 育てない  
 そだて 育ての親

いくえい 育英  
 いくじ 育児せんねんに専念する  
 きょういく 教育する  
 くんいく 訓育きょういく教育する  
 せいいく 生育する  
 たいいく 体育じかんの時間  
 ちいく 知育・体育・徳育たいいく とくいく  
 とくいく 知育・体育・徳育ちいく たいいく  
 ほいく 保育しょ所がかり  
 よういく 養育係



くち



イン



いんずう 員数かずを数える

- いいん 委員かい会かいの委員いいん
- いちいん 会かいの一員
- えきいん 駅えきの駅員
- かいいん 会かいの会員
- ぎいん 国会こっかい議員
- けついん 欠員ほじゅうを補充する
- こういん 工場こうじょうの工員
- こういん 銀行ぎんこうの行員
- しゃいん 会社かいしゃの社員
- しよいん 研究所けんきゅうじょの所員
- しよくいん 職員かいぎ会議
- じんいん 人員せいり整理
- たいいん 探検隊たんけんたいの隊員
- だんいん 楽団がくだんの団員
- ていいん 定員まもを守る
- てんいん 店みせの店員
- とういん 党員つひを募る
- ぶいん クラブの部員
- まんいん 満員でんしゃ電車
- やくいん 比ひろろーえ PTAの役員

院

イェン

院

10

院

イ  
ン

いんせい じょうこう 上皇の院政  
 いんぜん 院宣がくだされる  
 いんちょう しいん 医院の院長

しいん 病院・病院  
 がくいん 学院  
 しょいん 書院の間  
 じいん 寺院・しいん 病院  
 たいいん 退院・にゅういん 入院  
 つういん 通院・つうがく 通学  
 にゅういん 入院・たいいん 退院  
 びょういん 病院・にゅういん 入院する  
 りょういん 両院 きょうぎかい 協議会

飲 イ  
ク

飲

⑫

の  
(む)

飲

イ  
ク

のむ 水を飲む  
 のまない 飲まない  
 のみます 飲みます  
 のみません 飲みません

いんしゅ 飲酒うんでん  
 いんしょく 飲食 = 飲のみ食くい  
 いんよう 飲用にする水みず  
 いんりょう 飲料水スイ  
 ぼういん 暴飲ぼうしょく暴食からだは体どくに毒

運 (うん) しん

運

(12)

は (い) (う)

運

ン

はこぶ 運ぶ・運ばない

はこばない 運ばない

はこびます 運びます

はこびません 運びません

うんが 運河ほを掘る

うんきゅう 飛行機ひこうきが運休する

うんしん 運針れんしゅうの練習

うんせい 運勢うらなを占う

うんそう 運送かいしゃ会社

うんちん 運賃じょうしょう上昇

うんどう 運動うんどうかい場で運動会

うんぴつ 運筆をならう

うんめい 運命のいたずら

うんゆ 運輸しょう省

あくうん 悪運つよ強い

かいうん 海運・陸運りく せん

泳

およぐ

泳

⑧

およぐ

泳

エイ



およぐ 泳ぐ・泳がない  
およがない 泳かがない

およぎます 泳ぎます  
およぎません 泳ぎません

えいしゃ 泳者 = 泳ぐ人  
えいほう 泳法 = 泳ぎ方

えんえい 遠泳大会  
きょうえい 競泳大会

すいえい 水泳大会  
はいえい 背泳・背泳ぎ  
りきえい 力泳する

馬

うまへん

馬

14

馬

工  
井

えきいん	えき 駅の	駅員
えきしゃ	えき 駅の	厩舎・校舎 <small>こうしゃ</small>
えきちょう	えき 駅の	駅長
えきとう	えき 駅の	厩頭に <small>た</small> 立 <small>た</small> って演説 <small>えんせつ</small>
えきべん	えき 駅の	駅弁 <small>た</small> を食 <small>た</small> べる
えきめい	えき 駅の	駅名

3  
0  
1  
4

央 だい

央

⑤

央

才  
ウ

ちゅうおう 中央・ちほう地方

3015

横

きへん

横

きへん

⑮

1811

横

才ウ

よこ	横 <small>たて</small> ・縦	おうこう	ドロボーが横行
		おうたい	横隊 <small>じゅうたい</small> ・縦隊
よこあな	横穴 <small>ほ</small> を掘る	おうだん	横断 <small>ほ</small> 歩道 <small>どう</small>
よこいと	横糸 <small>いと</small> ・たて糸	おうちやく	横着 <small>やつ</small> な奴
よこがお	横顔 <small>かほ</small> がすてき	おうてん	自動車 <small>じどうしゃ</small> が横転
よこちょう	横町 <small>まち</small> の一	おうぼう	横暴 <small>ぼう</small> をきわめる
よこみち	横道 <small>みち</small> にそれる	じゅうおう	縦横 <small>むじん</small> 無尽 <small>あば</small> に暴れる
よこめ	横目 <small>め</small> に見る		

3016

屋

しか  
やね

屋

⑨

や

屋

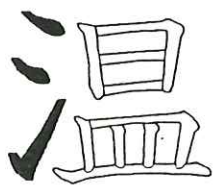
オク



○○や  
 やごう  
 やたい  
 やね  
  
 おもや  
 がくや  
  
 くすりや  
  
 こや  
  
 さかなや  
  
 さかや  
 しちや  
 ながや  
 なや  
 にくや  
 ひらや  
 ほんや  
 みずや  
 みせや  
  
 やどや

○○屋  
 屋号を—  
 屋台のラーメン  
 屋根・天井てんじょう  
  
 母屋をとられる  
 楽屋うら  
 薬屋やっきょく = 薬局  
 小屋がけ  
 魚屋せんぎょしょう = 鮮魚商  
 酒屋ので飲む  
 質屋かよに通う  
 長屋く暮らし  
 納屋にしまう  
 肉屋・魚屋さかなや屋  
 平屋のたてもの  
 本屋・書店しょてん  
 水屋にしまう  
 店屋・店先・店頭みせさき てんとう  
 宿屋しゅじんの主人

おくがい 屋外・屋内おくない  
 おくじょう 屋上にのぼる  
 おくない 屋内・屋外おくがい  
  
 かおく 家屋しんすいはっぴやくこの浸水8百戸

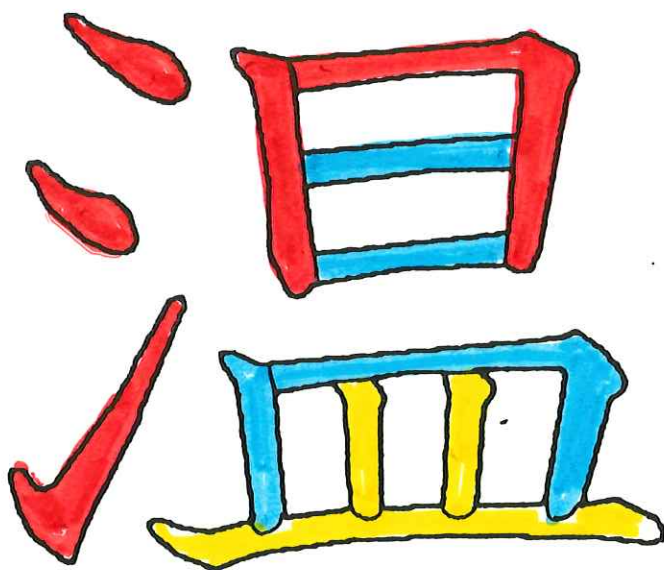


たぬき  
すい

温

⑫

あたたか  
(かい)



オン

三二

あたたかい 温かい つめたい

あたたかくない 温かくない

あたたかさ 温かさ

あたたかみ 温かみ

おんこう 温厚 たじ な人

おんしつ 温室 そだ で育てる

おんすい 温水 プール

おんせん 温泉 はい に入る

おんたい 温带・熱帯 ねったい

おんだん 温暖 きこう な気候

おんど 温度 ひく が低い

おんわ 温和 きこう な気候

きおん 気温 はか を計る

けんおん 検温 じかん の時間

こうおん 高温・低温 ていおん

しつおん 室温

じょうおん 常温 きたい で気体

すいおん 水温 ちょうせつ 調節

たいおん 体温 けい 計 はか で計る

ていおん 定温 どうぶつ 動物・へんおん 変温

ていおん 低温・高温 こうおん

てきおん 水分・空気・適温 すいぶん くうき

ほおん 保温する

化<sup>ひ</sup>

化

④

ば  
(ける)

化

カ  
ケ

ばける 化ける  
 ばける 化けない  
 ばけます 化けます  
 ばけません 化けません

かがく 化学・科学  
 かごう 化合する  
 かせき 恐竜の化石

あっか 病気が悪化する  
 えきか 液化・気化  
 かんか 感化される  
 きか 液体が気化する  
 きょうか 強化する

さんか 酸化  
 しょうか 食べ物を消化する  
 しんか 進化論  
 たいか 退化する  
 でんか 電化製品  
 どうか 同化する  
 ふうか 岩石が風化する

ぶんか 文化・文明  
 へんか 変化する  
 りよっか 国土の緑化

けしん 仏の化身  
 どうけ 道化師=ピエロ

ごんげ 悪の権化

荷

くさ かんじり

荷

⑩

に

荷

力

に 荷おもが重い

に 荷かるが軽い

にぐるま 荷車つに積む

にもつ 荷物もを持つ

はつに 初荷いらがつよっか(1月4日)

おもに 重荷おもになる

かじゅう 荷重こ5トンまで

しゅっか 出荷する

にゅうか 入荷しゅっか・出荷

ふか 負荷をかける

田 た

界

⑨

界

カイ



がっかい	学界 <small>ぎょうかい</small> ・業界
きょうかい	境界 <small>せん</small> 線
ぎょうかい	業界 <small>ぎょうしゃ</small> ・業者
げかい	下界 <small>てんかい</small> ・天界
げんかい	限界
ざいかい	財界 <small>せいかい</small> ・政界 <small>かんかい</small> ・官界
しかい	視界 <small>りょうこう</small> 良好
じかい	磁界 <small>じき</small> ・磁気
せいかい	政界 <small>ざいかい</small> ・財界 <small>かんかい</small> ・官界
せかい	世界 <small>たいせん</small> 大戦
たかい	他界 <small>し</small> する(死)
てんかい	天界 <small>み</small> から見れば

開

もんかまへ

開

⑫

カイ

開

ひら(く)

あ(ける)

ひらく 開く・閉じる

ひらかない 開かない

ひらきます 開きます

ひらきません 開きません

あける 開ける

あけない 開けない

あきます 開きます

あきません 開きません

かいか

かいこう

かいこく

かいし

かいせん

かいつう

かいてん

かいふく

かいへい

かいほう

かいまく

こうかい

さいかい

せっかい

ぜんかい

てんかい

まんかい

みかい

開花する

開口いちばん

開国・開店

試験を開始する

開戦・終戦

道路が開通する

開店  
祝い  
手術

扉の開閉

校庭を開放する

開幕・閉幕

公開する

会を再開する

切開手術

全開・半開

展開

サクラが満開

未開社会

階

ハカシム

階

⑫

階

カイ

かいか 階下しゃかいにおりる  
かいきゅう 階級かい社会か  
かいじょう 階上・階下しゃかい  
かいそう 階層しゃかい社会  
かいだん 階段をのぼる

おんかい 長音階ちょう・短音階たんおんかい  
だんかい 段階をふむ  
ちかい 地階ちゅうしゃじょうに駐車場  
にかい 二階さんがい・三階

寒

うかんむり

寒

⑫

まじり (5)

寒

カン

さむい 寒い・暑<sup>あつ</sup>い  
 さむくない 寒くない  
 さむがり 寒がり・暑<sup>あつ</sup>がり  
 さむさ 寒さ・暑<sup>あつ</sup>さ

さむざむ 寒寒とした景<sup>け</sup>色<sup>しき</sup>  
 さむぞら 寒空<sup>ふる</sup>に震える

かんき 寒気<sup>だん</sup>団  
 かんしょ 寒暑<sup>さ</sup>の差<sup>だい</sup>が大  
 かんたい 寒帯<sup>あ</sup>・亜寒帯<sup>あかんたい</sup>  
 かんだん 寒暖<sup>さ</sup>の差  
 かんちゅう 寒中<sup>すいえい</sup>水泳  
 かんてん 寒天<sup>た</sup>を食<sup>た</sup>べる  
 かんぱ 寒波<sup>ねっば</sup>・熱波  
 かんふう 寒風<sup>ふ</sup>吹きすさぶ  
 かんりゅう 北<sup>きた</sup>からの寒流<sup>かんりゅう</sup>  
 かんれい 寒冷<sup>ぜんせん</sup>前線

おかん 悪寒<sup>あくかん</sup>がする  
 げんかん 厳寒<sup>げんかん</sup>の北極<sup>ほっきょく</sup>  
 ごくかん 極寒<sup>ごくかん</sup>の地<sup>ち</sup>  
 しょうかん 小寒<sup>しょうかん</sup>・大寒<sup>たいかん</sup>  
 だいかん 大寒<sup>だいかん</sup>・小寒<sup>しょうかん</sup>  
 よかん 余寒<sup>よかん</sup>・小寒<sup>しょうかん</sup>・大寒<sup>たいかん</sup>

3024

感

こころ

感

13

感

カン



かんかく 感覚がある

かんこう 感光紙

かんしゃ 感謝する

かんしん 感心する

かんせん 感染症

かんそう 感想文

かんでん 感電死する

かんど 感度が良い

おんかん 音感きょういく 教育

きょうかん 共感する

ごかん 語感が良い

ごかん 五感うった 訴える

じっかん 実感がない

どうかん 同感です

はんかん 反感をもつ

りゅうかん 流感にかかる



かん  
がい

漢

13



かん

かんがく 漢学・ようがく洋学

かんご 漢語・わご和語

かんし 漢詩よを讀む

かんじ 漢字・こくじ国字

かんぶん 漢文・えいぶん英文

かんわ 漢和じてん字典

あっかん 悪漢あらわが現れる

こうかん 好漢お惜しむらくは  
へいほう兵法を知らず

ぼうかん 暴漢おそに襲われる

わかん 和漢しょもつの書物

館

57 2

館



館

カン

かいかん	○○会館
しんかん	新館 <small>きゅうかん</small> ・旧館
べっかん	別館 <small>ほんかん</small> ・本館
ほんかん	本館 <small>べっかん</small> ・別館
ようかん	<small>こうべ</small> 神戸の洋館
りょかん	旅館 <small>あるじ</small> の主

3027

岸

やま

岸

⑧

きし

岸

ガン

きし 岸よに寄せるなみ波

きしべ 岸辺うみべ・海辺かわべ・川辺

かわぎし 川岸かわがし・海岸

うがん 右岸かわしも川下むかに向みぎって右

えんがん 沿岸

かいがん 海岸かわがし・川岸

こがん ビワ湖岸

ごがん 護岸こうじ工事

さがん 川下かわしもに向ひだりって左 左岸

たいがん 対岸かのし火事

なんがん 南岸なんがし・北岸

りょうがん 川の両岸

起

そう  
にやう

起

⑩

お  
(きる)

起

キ



おきる 起きる  
おきない 起きない  
おこす 起こす  
おきる 起きろ

きげん ことばの起源  
きさん ~から起算して  
きしょう 起床・就床  
きそう 草案を起草する  
きてん とうきょう 東京を起点として  
きりつ 起立！礼！着席！  
さいき 再起を期す  
ふんき 奮起する

期 (キ)

期

12

期

キ

きかん 期間 を<sup>き</sup>決める  
 きげん 期限  
 きじつ 期日 ま<sup>で</sup>に<sup>どうめい</sup>  
 きせい 期成 同盟  
 きたい 期待 する  
 きまつ 期末 テスト

えんき 延期 する  
 かいき 会期 を延ばす  
 かき 夏期  
 がつき 学期  
 こうき 前期・後期  
 しゅうき 周<sup>てき</sup>期的<sup>てき</sup>にくる  
 しゅんき 春期・秋期  
 しょき 所<sup>ちくひょう</sup>期の<sup>ちくひょう</sup>目標  
 じき 時期 が悪い  
 たんき 短期・長期  
 ちょうき 長期・短期  
 ていき 定期 を見せる  
 とうき 冬<sup>やす</sup>期の<sup>やす</sup>休み  
 どうき 同期 生  
 にんき 任期 は4年  
 のうき 納<sup>まも</sup>期<sup>まも</sup>を守る  
 まつき 病<sup>びょうき</sup>気の<sup>びょうき</sup>末期  
 まんき 定期貯<sup>ていきちよきん</sup>金の<sup>ていきちよきん</sup>満期  
 むき 無<sup>えんき</sup>期<sup>えんき</sup>延期

さいご 人の<sup>ひと</sup>最<sup>さいご</sup>期  
 まつご 末<sup>みず</sup>期の<sup>みず</sup>水

いちごいちえ 一期一会

3030

客

きやく

客

⑨

客

キヤク・カク

きゃく 客  
おきゃくさん お客さん

きゃくあし 客足とおが遠のく

きゃくえん 客演しきしや指揮者

きゃくしつ 客室がかり係

きゃくしゃ 客車・貨車かしゃ

きゃくじん 客人がある

きゃくせき 客席すわに座る

きゃくせん 客船・貨物船かもつせん

きゃくま 客間・居間いま

きゃっかん 客観てき的みるに見る

かんきゃく 観客せき席

じょうきゃく 船ふねの乗客

らいきゃく 来客ちゅう中ななので

りよ **かく** 旅客れっしや列車

しゅかく 主客てんとう転倒

究  
九

あなかんむり

究

⑦

きわ(める)

究

キユウ

きわめる 究める

きゅうきよく 究極せんたくの選択

きゅうめい 原因げんいんを究明する

がっきゅう 学究との徒

けんきゅう 研究する

たんきゅう 探究する

ついきゅう 追究する・追求ついきゅう



急

急

⑨

いそ (ぐ)



キユウ



いそぐ 急ぐ  
 いそがない 急がない  
 いそぎます 急ぎます  
 いそぎません 急ぎません

いそげ 急げ  
 いそごう 急ごう

さきいそぎ 先急ぎ  
 おいそぎ お急ぎかたの方

きゅうし 急使はけんを派遣する  
 きゅうしん 急進は派  
 きゅうせい 急性・慢性まんせい  
 きゅうそう 急送する  
 きゅうそく 急速すすに進む  
 きゅうぞう 急造たてもものの建物  
 きゅうてん 急転ちよっか直下のかいけつ解決  
 きゅうはん 急坂のぼを上る車くるま  
 きゅうば 急場をしのぐ  
 きゅうびょう 急病人にん  
 きゅうむ これは急務だ  
 きゅうよう 急用がある  
 きゅうりゅう 急流ながに流される  
 おうきゅう 応急てあ手当て  
 かきゅう 火急ようじの用事  
 ききゅう 危急そんぼう存亡のとき時  
 きゅうきゅう 救急しゃ車  
 しきゅう 至急とど届ける  
 じゅんきゅう 準急・特急とっきゅう  
 せいきゅう 性急けっていな決定  
 とっきゅう 特急 = 特別急行とくべつきゅうこう

3033

級

キョウ

級

⑨

級

キョウ

三一三

きゅうちょう級長・副級長 ふくきゅうちょう

きゅうゆう級友 あそぶ と遊ぶ

かいきゅう階級 しゃかい 社会

かきゅう下級 せい じょうきゅうせい 生・上級生

がっきゅう学級 い いん 委員

こうきゅう高級 ひん 品

しょきゅう初級 ちゅうきゅうじょう ・中級・上級

しんきゅう進級 テスト

じょうきゅう上級 せい かきゅうせい 生・下級生

ちゅうきゅう中級 じょうきゅう か ・上級・下級

ていきゅう低級 こうきゅう ・高級

とうきゅう等級 を分ける

とっきゅう特級 しゅ いっきゅうしゅ 酒・一級酒

どうきゅう同級 せい 生

3034

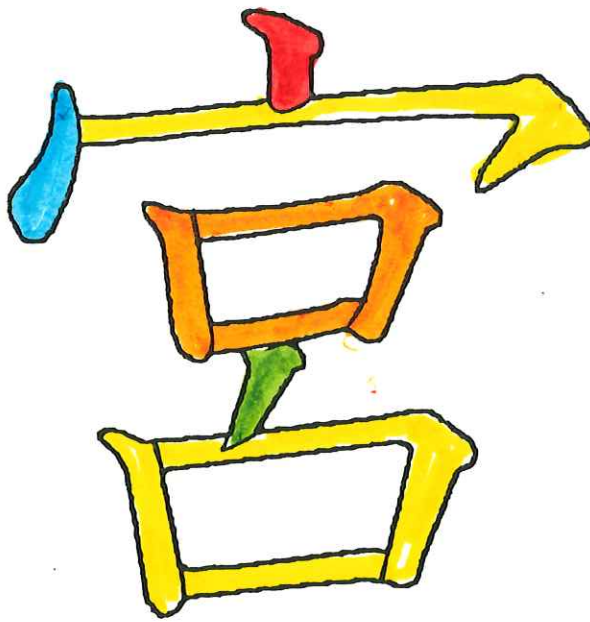


うかんむり

富



みや



キユウ・グウ

みや

あきしの  
秋篠の宮

きゅうじょう 宮城  
きゅうちゅう 宮中 ばん かい 晩さん会

きゅうでん 宮殿 す に住む

おうきゅう 王宮 す に住む

めいきゅう 迷宮 入り

ぐうじ じんじや 神社の宮司

げぐう 外宮・内宮 ないぐう

こうぐう 皇宮 けいさつかん 警察官

さんぐう 参宮 する

じんぐう いせ 伊勢神宮

とうぐう 東宮 ごしょ 御所

ないぐう 内宮・外宮 げぐう

球

おうへん

球



たま

球

キユウ

たま 球  
 たまひろい 球拾い

きゅうぎ 球技<sup>たいかい</sup>大会  
 きゅうけい ボールは 球形  
 きゅうこん 球根<sup>う</sup>を植える  
 きゅうじょう 球場<sup>やきゅうじょう</sup> 野球場  
 きゅうだん 球団のフロント  
  
 がんきゅう 眼球  
 ききゅう 気球<sup>と</sup>を飛ばす  
 けっきゅう 白血球<sup>ほっ</sup>・赤血球<sup>せっけっきゅう</sup>  
 だきゅう 打球をとる  
 ちきゅう 地球<sup>たいよう</sup>・太陽<sup>つき</sup>・月  
 ちよっきゅう 直球・カーブ  
 ていきゅう 庭球 = テニス  
 でんきゅう 電球<sup>たま</sup>の球  
 とうきゅう 投球<sup>する</sup>  
 はんきゅう 半球<sup>ぜんきゅう</sup>・全球  
 やきゅう 野球<sup>きゅうじょう</sup>の球場

3  
0  
3  
6

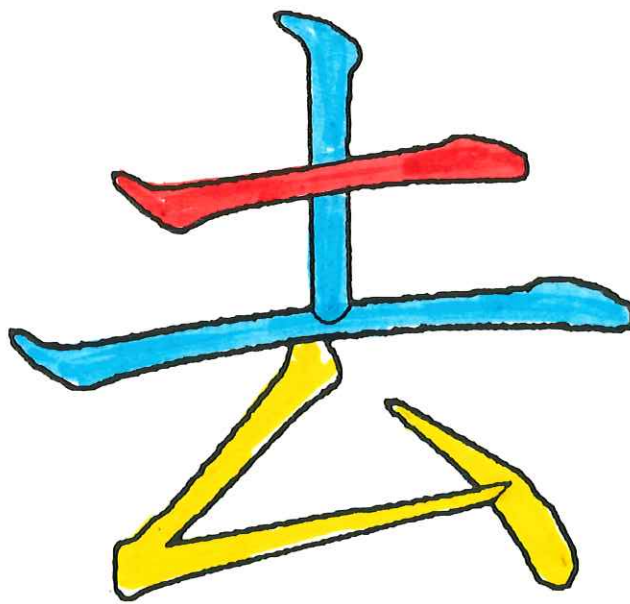


む



⑤

去 (る)



去 (る)



さる 去る  
 さった 去った  
 とびさる 飛び去る

きょしゅう 去就あきを明らかに  
 きょねん 去年・今年ことし・来年らいねん

しきよ 死去する  
 じょきよ 土砂どしゃを除去する

たいきよ 退去する

かこ 過去・現在げんざい・未来みらい

3037

橋

きへん

橋



はし

橋

キヨウ

はし 橋<sup>わた</sup>を渡る

てっきょう 鉄橋<sup>わた</sup>を渡る

はし 橋<sup>か</sup>を架ける

りっきょう 陸橋<sup>か</sup>を架ける

いしばし 石橋<sup>たた</sup>を叩いて<sup>わた</sup>渡る

いたばし 板橋・土橋

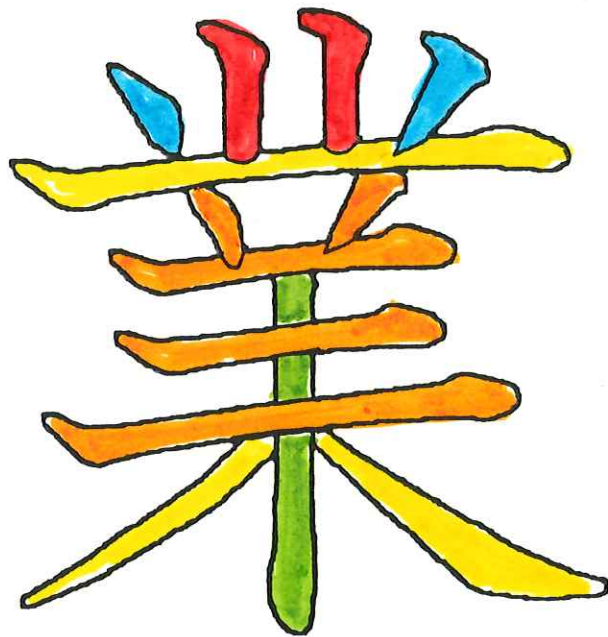
どばし 土橋・板橋・石橋

業ぎ

業

⑬

わざ



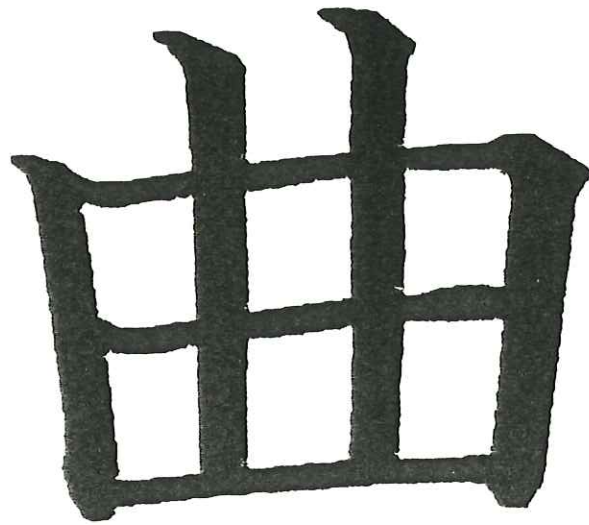
ギョウ・ゴウ

- わざ 業
- かみわざ 神業・人間業にんげんわざ
- しわざ だれの仕業か
- はやわざ 早業はつきを發揮する
- ぎょうかい 業界・業者ぎょうしや
- ぎょうしゃ 商工業者しょうこう
- ぎょうしゆ 業種を問わずと
- ぎょうせき 業績アップ
- ぎょうむ 業務めいれい命令
- えいぎょう 営業する
- かぎょう 家業を継ぐ
- きゅうぎょうほんじつ 休業
- ぎょぎょう 漁業・農業のうぎょう
- こうぎょう 工業・工場こうじょう
- さぎょう 作業はじを始める
- さんぎょう 産業をおこす
- しつぎょう 失業する
- しゅうぎょう 終業しき式
- しゅぎょう 修業する
- しょうぎょう 商業・工業こうぎょう
- しよくぎょう 職業につく
- じぎょう 事業をおこす
- じゅぎょう 授業ちゅう中
- そうぎょう 操業ふのう不能おちいに陥る
- どうぎょう 同業者しや
- のうぎょう 農業・工業・商業こうぎょうしょうぎょう
- ふくぎょう 副業にする
- ほんぎょう 本業に精せいを出だす
- りんぎょう 林業・漁業ぎょぎょう
- ごうく 地獄じごくの業苦

3039

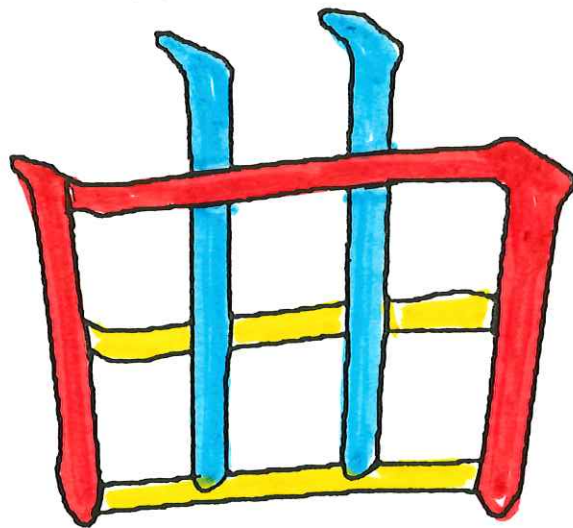


ひらび



⑥

ま  
(がる)



キヨク

まがる 曲る  
 まがらない 曲らない  
 まげる 曲げる  
 まげない 曲げない  
 まがりかど 曲り角  
 まがりみち 曲り道  
 まがりなり 曲りなりに

きょくげい 曲芸し師  
 きょくせつ 曲折をへて  
 きょくせん 曲線ちよくせん・直線  
 きょくば 曲馬だん団  
 きょくめん 曲面へいめん・平面  
 きょくもく えんそう演奏 曲目  
 きょっかい 曲解する  
 かきょく シューベルル歌曲集しゅう  
 くみきょく 組曲 =  
 さっきょく 作曲する  
 じょきょく 序曲タンホイザー  
 めいきょく 名曲をき聴く

3  
0  
4  
0

局

しかばね

局

⑦

局

キヨク



きょくち 局地せん戦  
きょくぶ 局部ますい麻醉

けっきょく 結局そうなつた

しゅうきょく 終局むかを迎える

じきょく 時局たいへん大變

せいきょく 政局てんぼう展望

たいきょく 大局みを見る

とうきょく 当局かんちの関知

なんきょく 難局にあたる

はきょく 破局をむかえる

やっきょく 薬局くすりで薬かを買う

ゆうびんきょく 郵便局